

## 食品ロス削減からはじまる、複合的な地域課題の解決

神奈川県鎌倉市 × ビジョン株式会社

### 取組概要

赤ちゃんを見つめ続けてきたビジョン株式会社が、地域の育児支援の課題と自社の食品ロス削減の課題を組み合わせ解決を図りました。十分な賞味期間が残っているベビーフード等を自治体へ無償提供し、各自治体に育児支援用ノベルティとして活用いただきました。また、つながった自治体との意見交換から「赤ちゃんの防災」に関する新商品を啓蒙。育児支援、食品ロス削減だけでなく、複合的な取り組みへと発展しています。



在宅療養者向けの支援物資（延岡市）



かまくらスマイルフードプロジェクト

### 基本情報

代表地方公共団体	神奈川県鎌倉市
代表民間団体	ビジョン株式会社
他の連携団体等	株式会社 官民連携事業研究所
カテゴリ	災害対策・防災・減災／環境保全対策／ふるさと納税・企業版ふるさと納税
事業費	
めざすSDGsゴール	
事業化までの期間	1か月間

### 取組内容



鎌倉市 ワクチン接種会場での熱中症対策



生駒市防災イベントローリングストック啓蒙

この取組で解決した課題	<p>一連の取り組みの中で、以下の課題に取り組んでいます。</p> <p>(1) 育児支援のノベルティ不足（食品ロス削減とのマッチング）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、出生後の3か月検診の際などに、従来であれば、食品ロスとして処分されるかもしれないベビーフード等をノベルティとしては配布。</li> <li>受診率を向上、ネグレクトなどの早期発見につなげています。</li> </ul> <p>(2) 赤ちゃんの防災に関する情報不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジョンの持つ子育てに関する情報を広報誌やイベントを通じて住民に提供。</li> <li>なかなか意識のいかない、赤ちゃんの防災に関する意識を向上しています。</li> </ul> <p>(3) 赤ちゃん専用防災グッズの不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際に被災されたママの声をもちに、災害用の授乳カップ、ブランケット、コンパクトベッドを開発。</li> <li>8自治体1,500世帯へ無償提供いたしました。</li> </ul>
解決に向けた手法	<p>フードバンク：熊本市、鎌倉市では必要な食糧物を入手できない方々への支援として、市民の皆様へ提供いただきました。2022年6月までに計8回のスマイルフードプロジェクトに参加・支援しております。こども園・保育園で配布；三宅町、生駒市、茨木市のこども園・保育園に無償提供致しました。熊本市では子育て施策の一環で県外から移住した方向けの交流会にて商品を配布しました。コロナウイルス感染症対策に関する活用（鎌倉市、三宅市、延岡市）：ワクチン接種会場での熱中症対策としてご活用しました。延岡市では在宅療養者向けの支援物資としてご活用いただきました。あかちゃんの防災への活用：生駒市が開催する市の防災イベントに参加し、赤ちゃんのいる家庭での災害への備えを市民の皆様にお伝えし、ローリングストックを始めるきっかけとして配布しました。熊本市に提供した商品の一部は人吉市で発生した水害で被災されたご家庭に配布しました</p>

## 取組詳細

事業推進上の各団体の役割分担	
地域関係者との連携方法	株式会社官民連携事業研究所のご協力もいただきながら、自治体との取組を開始。2021年5月以降、奈良県生駒市、奈良県三宅町、大阪府茨木市、神奈川県鎌倉市と、フードロス対策、子育て政策支援、赤ちゃんの防災対策を盛り込んだ連携協定を締結。2022年以降は「そなえの輪推進プロジェクト」として宣言に賛同いただく自治体を募集し、現在26自治体と連携しています。
資金調達方法	資金調達はございません。
資金調達方法の補足	
事業推進上の課題・工夫	<p>これまでにない多くの自治体との連携や複合的プロジェクトを進めるにあたり、常識にとらわれず、住民の方の声を頼りに社内外の調整を進めました。</p> <p>本プロジェクトは、当初は、食品ロス削減と育児支援を組み合わせたものでした。自治体様や住民様のお声を聴くと、他の分野でも赤ちゃんや子育ての課題があるとわかりました。活動の幅を広げたいもののリソースも限定的であり、従来であれば、順次進めることになっていたと思います。</p> <p>今回、私たちは、弊社の活動の拠り所である「Pigeon Way」に立ち返り「赤ちゃんをいつも真に見つめ続け、この世界をもっと赤ちゃんにやさしい場所にします」という理念のもと、一つの枠にとらわれず突き進み、従来にないスピード感で進めることができました。立ち上げた「あかちゃんと備えの輪」プロジェクトは26自治体からの賛同を得られ、食品ロス削減、育児支援だけでなく、赤ちゃんの防災、自治体との情報連携などSDGsの複数に合致する複合的な取り組みへと発展いたしました。</p> <p>日本の中で子育て環境の向上をリードしていかなければいけないというビジョンの志が伝わった結果だと思っています。</p>

## 担当者のコメント



中村優太（写真左）

## 優良事例応募項目

取組のポイント（3つの視点）	<p>①地方創生SDGsの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本取り組みは、フードロス削減を育児支援へと生かす取り組み。</li> <li>育児支援では、検診時のノベルティ提供を通じ、ネグレクト等の早期発見に寄与。地域社会、特に赤ちゃんの「貧困」「飢餓」の抑止に貢献しています。</li> <li>フードロス削減の側面では、従来であれば棄棄される食品を配布することで「住み続けられるまち」「つくる責任」の観点に貢献しています。</li> <li>また、本取り組みは当社だけでは、発想も進めることもできませんでした。自治体と企業がそれぞれパートナーシップをもって取り組んだことで地域住民にとって必要な取り組みになったと考えています。</li> </ul> <p>②ステークホルダーとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在26の自治体が参加するそなえの輪推進プロジェクトを通じて、子育て政策にまつわる取り組み事例を広く共有しております。</li> </ul> <p>③モデル性・波及性</p> <p>本取り組みは、ビジョンの持つ赤ちゃんに関するノウハウをきっかけに連鎖的に発展していききました。赤ちゃんに関連した他の領域へご要望も寄せられており、全体としてインパクトの大きい取り組みへの発展が見込まれます。また、子育て以外の分野では、当社ではなく他の企業でも同様の取り組みが可能と思われます。官、民で情報連携し、新たな取り組みを創出することが、地域課題解決へつながります。</p> <p>（本取り組みの広がり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>育児支援の課題（自治体）</li> <li>→フードロス削減の課題（民間企業：ビジョン）</li> <li>→上記取り組みの中で、ビジョンの子育てノウハウの提供（自治体広報誌との連携）</li> <li>→災害時の赤ちゃん向けグッズの不足（熊本市）</li> <li>→新商品の開発（民間企業：ビジョン）</li> </ul>
----------------	--